

阿部誠一郎君 ニコニコ委員長がニコニコするように協力。

今井克義君 終り良ければすべて良し。米山君おめでとう。終り悪ければすべてダメ。御愁傷さまでした。羽賀さん。

佐藤義英君 山崎さんの卓話に期待!!

本間建雄美君 本日の卓話山崎様宜しくお願いします。

山崎 勲 君

西村護君 ボックスに協力して!／

久保博君 山崎さん卓話御苦労様です。

中條耕二君 山崎さんのお話にご期待して

佐藤啓策君 山崎さん卓話ご苦労様です。楽しく真剣に拝聴させていただきます。

堀川正幸君 ゴルフ同好会のメンバーの無事生還を祝して!!

卓 話： 「県央地区の経済動向」 山崎 勲 会員



久しぶりに私の卓話の時間になりましたが、どうもほかの会員に比べると卓話が回ってくるのが早いようで一回毎に話題を変えて行くネタぎれになってしまいます。

今回は県央地区の経済動向と言う表題が与えられていますので、経済にはあまり詳しくはありませんが、私の知っている範囲内で話をさせていただきます。

県央地区の経済動向と言いますと、三条信用金庫で作成している経済動向調査が一応の目安になると思いますが、10月分の印刷が間に合わなくて手に入りませんでしたので知っている範囲内での話になりますが、お許しいただきたいと思います。

三条管内の7月決算の公示法人0は7月決算の会社自体が少なく、平成3年にはバブルのせいで11法人を記録しましたが、また昨年1社と少なかった事もあり全体で売上が落ちていることを考えるとそれほど大変な事ではないのではないのでしょうか。

9月21日から三条市で行った不況対策特別融資には市の用意した40億円に1.9倍の77億円が申し込まれて、10月5日には一旦締め切られてしまいましたが、申し込みの中身がはっきりせず、今まで高い金利で借りていた借入れ金の借り換えが多いのではないかと見られています。したがってこういう場合は金融機関は事前に大事な顧客に事前情報と言う形で借入れを進めており、本当に借入れをしなければならない業者には情報が届くのが遅れ、申し込み書を作成している段階で締め切られてしまうような結果になってしまいます。

管内では雇用調整助成金の申請は今年の6倍、金属製品製造業が36事業所と解雇者を出さないようにと申請が多くなっています。国民金融公庫も10月16日より、特別貸し付け枠を0.6%下げて

借り入れ内容により1.7%～2.25%を1.1%～1.6%に下げています。

燕市の商工会議所も緊急不況対策特別個別相談会を行ったところ、35件の申し込みがあり、仕事が減り先が見えない、従業員の再就職先をを深刻な相談が持ち込まれています。求職者も全県で5万1千724人、求人3万2千238人と求人倍率も三条所管内では0.47倍、巻所管内では0.52倍と依然深刻の状況を示しておりますが、企業内失業者までは数字に加味されておりませんので、失業者の割合はもっと増えるのではないかと考えられます。

三条市の市税収入では9月末まで半年間の市税収入済額が69億1,820万2千円で去年同期と比べると4億2千630万5千円と前年対比5.8%と不況とデフレの二重苦で戦後最悪の数字になっております。

加茂市は10月20日、1日に制定された金融取引安定化特別保証制度と信用保証協会を利用し補完する形の中小企業者向けの融資支援策をスタートさせ、40億円の融資枠を用意しております。

三条市でも金融取引安定化特別保証制度、中小企業特別保証制度を利用し、申し込みを受け付けたところ20件の申し込みがありましたが、審査の結果13件に認定書が交付されております。

三条市では来年度予算の予算編成作業を開始しましたが、預金は1億円あるだけで、市債残高429億円、債務負担行為残高83億円、一部事務組合債の三条市負担分177億円の合計689億円と今年度当初より38億円増えて市民一人当たりの借金は、79万5千円となります。不況は一般企業だけでなく三条市で行われた農業祭にも影響し来場者は昨年の6割り余り、ここにも不況が押し寄せて来ております。

最後に不況の現状は売上で平均10%減位が普通でないかと思いますが、中では総意、工夫を重ね売上を10%位伸ばしている企業もあり、今年は夏もなく、秋もはっきりしなかったのが、製造業、商業に打撃を与えていることも忘れてはならないと思います。

日本は本当に不況で国の財産もないかと思うとそうではなく11月号のロータリーの友で作家・経済評論家・経済企画庁長官 堺屋太一氏の書いている平成の改革 日本のあるべき姿を求めての中で書かれている文章を良く読んでいただくと分かりますが、バブルを基準としてのものの考え方を改めなければ不況はなくなると結論づけております。

皆さんがたも不況だからと売上の伸び悩みを不況のせいにししないで、今現在をいかに切り抜けて行くか、元気を出して頑張ってください。

## 会 員 の 声：

先日新潟県建築士会三南支部で「まちづくり住まいづくりの素晴らしさ」をテーマに新津市出身の地濃茂雄新潟工科大学教授が講演された。この方はコンクリート博士で生コンクリートが固まる時の温度と強度の関係で本年度建築界の日本建築士学会と日本コンクリート工学協会の論文賞さらに日本建築学会賞を受賞された権威ある方です。その理由として「建築の工法を決める指針になっている」と高く評価された。プロ野球なら「三冠王」と言ったところでしょうか。講演の中で地濃博士は生活の場、それは住まう場であり憩う場でもある。又暮らしを支える町も生活の場として